

* 2022年 7月改訂(第2版)
2019年10月作成(第1版)

医療機器届出番号 07B1X10001000041

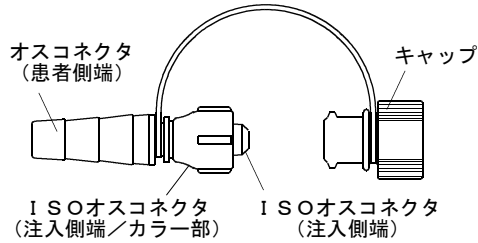
器74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ファイコン 栄養用変換コネクタ

再使用禁止

【禁忌・禁止】
1. 使用方法
1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】
1. 本品は、新旧規格の相互接続を目的としたコネクタである。
2. オスコネクタ(患者側端)は、平成12年8月31日医薬発第888号の別添2「経腸栄養ラインの接続部に関する基準」に適合するメスコネクタと接続できる。
3. ISOオスコネクタ(注入側端)は、ISO 80369-3に適合するISO誤接続防止コネクタのメスコネクタと接続できる。



〈材質〉

各部の名称	原材料
オスコネクタ(患者側端)	ポリプロピレン
ISOオスコネクタ(注入側端)	ポリプロピレン及びポリリセサル

本品はラテックスフリーである。
※ ISOオスコネクタのカラー部は非接触である。

〈原理〉
本品を介することで、規格の異なる栄養カテーテル等と栄養投与セット等を接続することができる。

【使用目的又は効果】
胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤等を投与する器具である。

【使用方法等】
1. 一般的使用方法
1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。
2) 留置されている(又は留置する)医薬発第888号に対応したメスコネクタを具備する栄養カテーテル等に、本品のオスコネクタ(患者側端)を接続する。
3) 栄養投与セット等のISO80369-3に適合したメスコネクタに、本品のISOオスコネクタ(注入側端)を接続する。
4) 本品から栄養投与セット等を取り外した後、必要に応じてキャップを閉じる。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意
1) 本品を経腸栄養投与セット等に接続する際は、過度な締め付けを行わないこと。[本品が外れなくなったり、本品が破損するおそれがある]
2) 栄養剤や薬液の投与、又は減圧を行う際は、ISOオスコネクタよりキャップを取り外すこと。
3) ISOオスコネクタは、栄養剤の投与時や減圧時以外閉じておくこと。

【使用上の注意】
1. 重要な基本的注意
1) 接続部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある]
2) 本品の接続部に栄養剤等が残留した場合は別売の洗浄ブラシ等を用いて洗浄すること。また、洗浄しても接続部に栄養剤等が残留する場合は交換すること。[栄養剤等の残渣は、接続不良や栄養剤等の漏れの原因となる]
* 3) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。
(自己認証による)

【保管方法及び有効期間等】
1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927